

週刊 リスクマネー経済新聞

リスクマネジメント愛媛

先週の振り返り

◆ 先週の株式&為替相場 (前週末比)

日経平均：38,642円 (-858円) / ドル円：154.00円 / NYダウ：43,444.99ドル (-544ドル)

◆ 先週の日経平均株価は3週ぶりの下落となりました。米大統領選後のリスク選好ムードも一巡し逆にトランプ新政権の負の側面も意識され始めました。為替市場では円安・ドル高が進んでいるものの、日銀が利上げで円安を止めるのではないかとの見方が浮上し、株の買いを抑えています。

⇒ 米議会選では上院に続いて下院も共和党が過半の議席を獲得しており、トリプルレッドが実現しました。来年1月に始動するトランプ政権における減税や規制緩和などの景気刺激策が意識される一方、財政悪化懸念が膨らむなど、期待と不安が混在した環境となっています。

【資金の流れ】 グロース株 ⇒ 好決算株 円 ⇒ 米ドル

注目トピック

◆ トランプ新政権のキーパーソン！？ …要職に抜擢されたイーロン・マスク氏

トランプ次期大統領は、選挙戦で巨額の献金を行ったイーロン・マスク氏を政府効率化省のトップに起用する考えを示しました。2026年7月4日までに設立を完了する予定ですが、その実態と今後の影響は？

【DOGEの役割とは…】

政府効率化省 (DOGE: Department of Government Efficiency) は政府の官僚主義を廃し、過度な規制を削減し、無駄な支出を減らし、連邦政府機関を再構築することを任務としています。DOGEという略称は、マスク氏が後押しする暗号資産のDOGE (ドージ) コインから取ったもの。政府外からの助言や指導を行う政府機関に対する諮問機関のような役割で、ホワイトハウスや行政管理予算局 (OMB) を通じて大規模な構造改革を実施していくと説明されています。マスク氏の企業経営の手腕が期待されての抜擢となります。

【財政環境改善に期待が掛かるが…】

マスク氏は2022年後半にTwitter (現X社) を買収した際、経営難に陥っていた状況から従業員の約80%をリストラするなど短期間で立て直した実績があります。また政府の民間企業に対する規制策や無駄の多い歳出に強い不満を持っており、私なら連邦政府予算を2兆ドル (約308兆円) 削減できるとも述べています。簡単ではないものの政府効率化省により歳出削減が進めば、財政環境の改善により物価上昇や長期金利上昇の抑制が見込まれます。ただその場合は株安・ドル安の要因にもなるため、今後の動向には注意が必要です。

今週の話題

◆ 熱い視線が注がれる米エヌビディアの決算発表

【解説】

米半導体大手エヌビディアは20日、24年8~10月期の決算発表を行います。時価総額は世界首位で株式市場に及ぼす影響も大きい同社。市場期待に応えることで人工知能 (AI) 相場の宴が続くか、注目が集まっています。

【ポイント】

売上高は前年同期比82%増の約329億ドル (約5兆円)、純利益は87%増の約173億ドルと高成長が見込まれます。さらに市場が最も関心を寄せるのは24年11月~25年1月期の業績見通しで、好調を維持できるかが焦点です。

【今後の影響】

前回8月決算発表では業績が好調だったにも関わらず、次期業績見通しにおいて成長性鈍化が懸念され失望売りへ繋がり、約8%の暴落となりました。過剰とも言える市場の期待に応えられるかが鍵となります。